

できることを少しずつ

平方小学校学校運営委員 渡辺 堅一郎

平方地区の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、学校運営や地域活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

4月より平方自治会連合会の橋渡し役として平方小学校の運営員として活動してまいりました。除草作業・枝落とし等地域の皆様のご協力を目のあたりにして地域の皆様の大きなお力に大変感動しております。

運営委員とともに平方南区自治会長でもあり自治会活動にも取り組んでいますが、学校と自治会の関係は、「地域の子どもは地域で育てる」を目指すコミュニティー・スクールの推進により、防犯・防災・地域行事・教育支援・協働等共通する部分が多々あります。

自治会では、同じ地域に住む住民が自主的に組織し、快適で住みよい地域を作るための任意団体で、防犯・防災・環境美化・福祉活動・親睦イベントを通して、地域のコミュニケーション形成と課題解決の役割を担います。

学校運営委員会は地域と一体となって子どもを育てる「地域と共にある学校づくり」を進めるための仕組みです。地域住民が学校と連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える活動です。「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域を活性化させる目的もあります。

普段から自治会で言っていることですが、気候変動で世界各地で起きてる洪水、東北地方で起きている地震、今後30年以内に70%の確立で発生すると想定されている首都直下地震、政府の被害想定によりますと埼玉県で最大死者3200名・建物全壊7万2000棟・帰宅困難者89万人です。しかもいつ起こるかは予測できません。子どもたちだけ、お年寄りだけ起きるかもしれないのです。対応できますか？。今こそコミュニティー、助け合いがなければ大変なことになります。

最近、平方小学校でも不審者情報がありました。子どもは知り合いの家に逃げ込んだというのですが、子どもたちの安全を守るためにも地域のコミュニティー、顔見知りになり声を掛け合うことが大切になっています。そして、自分ができるときにできることを少しずつ助け合い行動していくことが大切になるのではないのでしょうか。

子どもたちの学びと成長を支えるため、「安全で安心な学校」「地域とともに歩む学校」を目指して参ります。引き続きお力添えをお願い申し上げます。

